

KUMAMOTO ARTPOLIS NEWS

vol.38

くまもとアートポリス建築展2012

【シンポジウム】

- くまもとアートポリス25周年記念国際シンポジウム

『熊本から、みんなで考える - 郷土、文化的資産、世界』“建築の道しるべ”

- プロジェクトシンポジウム

『アートポリスの学校建築』～みんなで創り、育む学校～

- 「アートポリス再考」

- 東京シンポジウム『くまもとアートポリスの25年』

【バスツアー】

- アートポリス見学ツアー
- プロジェクト視察ツアー

【展覧会・建築塾】

- 「写真に映るアートポリス」
- くまもとアートポリスフォトコンテスト表彰式
- 「最新15の建築力」
- くまもとアートポリスコども建築塾

完成プロジェクト

- 天草アーバ
- 菊池市街地ポケットパーク
- 宇城市立豊野小中学校

プロジェクト速報

- 熊本県立球磨工業高校管理棟
- 和水町立三加和小中学校
- 和水町立菊水小中学校

トピックス

- 第18回くまもとアートポリス推進賞
- 日本クリエイション賞受賞報告
- アートポリスプロジェクト視察
- 豊野小中学校完成見学会・球磨工業高等学校管理棟現場見学会
- 海外巡回展

くまもとアートポリス建築展2012

これまでの成果を広く県内外に紹介し、アートポリスのさらなる飛躍と熊本ならではの魅力的な生活文化の創造を目指し、「くまもとアートポリス建築展2012」を開催。9月から12月の4か月間に渡り、「みんなで考える」をテーマに、シンポジウム、展覧会、フォトコンテスト、建築塾、見学ツアーを催した。



ペーター・ヒューブナー氏



くまもとアートポリス25周年記念国際シンポジウム 「熊本から、みんなで考える一郷土、文化的資産、世界」“建築の道しるべ”

建築展2012の中でもメインイベントである国際シンポジウム。

ペーター・ヒューブナー氏を迎え、平成24年11月23日に「くまもと森都心プラザ」で開催。

シンポジウムは『熊本から、みんなで考える一郷土、文化的遺産、世界』と題し、第1部では、設計段階からワークショップを組み込み、みんなで考えながら木造建築を作り上げているドイツの建築家ペーター・ヒューブナー氏を招き、基調講演を行っていただいた。第2部は、蒲島郁夫知事、放送作家・脚本家の小山薫堂氏、建築家・アートポリスコミッショナーの伊東豊雄氏による鼎談（てい談）が行われた。会場は、全国から応募があった参加者でほぼ満席となり、出演者の話に熱心に耳を傾けていた。

基調講演「Humane Architecture—共につくることの大切さ」 ペーター・ヒューブナー氏

基調講演では、ヒューブナー氏がこれまで手がけた作品を中心に紹介。1981年に学生寮を500人の学生たちとセルフビルドで建てた試みにより、ヒューブナー氏は多くの対話の中から、新しい技術・アイデア、新しい価値観が生み出されることを見出した。その後は、ユーザーとの交流やワークショップを重要視し、学校や幼稚園など、みんなで考えながら

作っていった事例が数多く紹介された。また、活発に行われた質疑応答では、このような試みがドイツでも大変珍しいことや、ユーザーが満足する建物を作るためにはワークショップが不可欠で、いかにユーザーの要望を建築で実現することが重要なのかを熱心に訴えた。

鼎談「蒲島知事が、小山薫堂、伊東豊雄と考える— クマモトからの可能性」

第2部の鼎談では、蒲島知事、小山薫堂氏、伊東豊雄氏がそれぞれの視点から、アートポリスが25年もの間継続されてきたことの価値や、アートポリスのあり方が変化してきたこと、道州制を見据えた今後の展望についてなどが語られ、さらに、熊本から発信できることは何かを探った。



100年後にみんなが素晴らしいと思えるものを生み出していかなければならない。地域の人々に愛される建築とは何かを考え続けたい。



蒲島郁夫知事

東北支援のために建てた「みんなの家」をきっかけに、東京を中心に考えてきた「建築」の概念が180°変わった。むしろ現在は地方の建築が面白い。今後は、熊本から発信していく、熊本のモノを外に出していくことが必要。



伊東豊雄氏

アートポリスで築かれたこの素晴らしい建築文化をもっと上手く発信するべき。また完成したから終わりではなく、どのように維持され、どのように使われているのかも一度検証するのも面白い。



小山薫堂氏



宇土小：中庭



網津小：説明をする坂本一成氏



網津小：周辺との緩やかなつながりを意識したヴォールト屋根



宇土小：体育館で説明をする赤松佳珠子氏



宇土小：テラスとつながり開放感あふれる共同スペース

プロジェクトシンポジウム「アートポリスの学校建築」

～みんなで創り、育む学校～

近年のアートポリス事業では、校舎の耐震化や人口減少による統廃合を背景に学校の建築が相次いでいることから、平成24年9月15日（土）に小学校の見学会とシンポジウムの二部構成で開催。

午前中は、すでに竣工している宇土市の宇土小と網津小の学校見学会を実施。参加者は、設計者自らの現場説明に熱心に耳を傾けながら図面や写真だけでは伝わらない開放感やたずまいを感じていた。



長澤悟氏

午後からのシンポジウムは、県庁を会場に学校建築の第一人者である長澤悟・東洋大教授による基調講演が行われた。長澤教授は、東日本大震災後の学校復興について言及し、「学校施設は教育機能の充実はもちろん、地域の核となり、防災拠点となる役割も求められている」と指摘した。

続いてのパネルディスカッションでは、これまでアートポリスの学校建築を設計した6人の建築家と伊東コミッショナー・アドバイザーらが意見交換。「みんなで作る」というコンセプトのもと、アンケート

やワークショップ、教師をはじめ地域住民との検討会などを重ね、設計案を練り上げたことなどが報告された。これを受けて伊東氏は「熊本には新しいものを受け入れる素地があり、KAPには慣習的に建てられる建築を新しくしたいという思いが一貫してある。熊本の風土や木材、ワークショップを生かしたKAPの学校造りは、被災地でモデルになり得るのではないかと締めくくった。教育関係者の参加も数多くあり、学校建築の新たな姿を探る有意義なものとなった。



ゲストパネリスト左より
内田文雄氏
(和木町立菊水小中学校設計者)
野沢正光氏
(和木町立三加和小中学校設計者)
高橋晶子氏
(県立球磨工業高校管理棟設計者)
小泉雅生氏
(宇城市立豊野小中学校設計者)
坂本一成氏
(宇土市立網津小学校設計者)
赤松佳珠子氏
(宇土市立宇土小学校設計者)

● 学校見学会に参加して（網津小）

崇城大学建築科4年生

見学会では建築家の方が自ら説明してくれ、しかも無料で、大変素晴らしい企画だと思います。実際に校舎の中に入り、見学してみて「家のような」というコンセプトがよく表現されていたと思います。大変勉強になりました。



くまもとアートポリス建築展2012「みんなで考える」 アートポリス再考

講演「アートポリスと私」

平成24年11月24日(土)、熊本交通センターホテルにおいてアートポリス事業25周年の節目に、これまでアートポリスのプロジェクトに参加した建築家の山本理顕氏、内藤廣氏、乾久美子氏、藤本壮介氏の4名を招いて、講演していただいた。25年という長い年月の中で、様々な時代に関わった建築家たちのアートポリスへの挑戦は、多様で興味深いものだった。また、アートポリスに関わったことがその後の建築家としてのスタンスに影響を与えていたということも共通していた。



山本 理顕 氏

(県営保田窪第一団地設計者)

「保田窪団地が公共建築・集合住宅としては初めてのプロジェクト。ある意味挑戦であり、また建築家としての原点となった。現在でも集合住宅を数多く手がけている。」



内藤 廣 氏

(うしぶか海影館設計者)

「東京から離れて見えてくるもの、地元の人たちの視点などへの気づきがあり、リージョナル(地方的)なものを造ろうという軸足が定まった。」



乾 久美子 氏

(新八代駅モニュメント「きらり」設計者)

「初めての公共事業で公共性について考えるきっかけとなった。モニュメントであったが、建物が持つ許容力・包容力という新しい視点を得ることが出来た。」



藤本 壮介 氏

(球泉洞休暇村バンガロー設計者)

「設計には、コミッショナーをはじめ関係者の方々に課題を与えてもらいながら1年程かかったが、非常に贅沢なプロセスだった。1年間頑張ったことが自信へとつながった。」



コーディネーター
桂英昭氏
(KAPアドバイザー)



伊東豊雄氏
(KAPコミッショナー)



末廣香織氏
(KAPアドバイザー)



曾我部昌史氏
(KAPアドバイザー)

アートポリスの運営ノウハウを熊本から発信！

引き続き4氏と伊東コミッショナー・アドバイザーも参加して行われたディスカッションのテーマは「アートポリスの未知なる可能性」。近年アートポリスで採用されているプロポーザル方式の意義について、優れた設計・提案が選ばれること、公開することでプロジェクトをPRできること、設計者の能力を高めることなどの利点をあげた。また、豊野、三加和、菊水小中学校のプロジェクトでは地元の建築家も参加し、良いチームワークが発揮されており、熊本の建築にも良い影響を与えられていることなどが語られた。また、競い合いながら学ぶ競学の間として取組んだ「水草アーバ建築塾」や、仙台市・阿蘇市に建設した「みんなの家」についても報告された。

このように25年の間に様々な手法が試され、運営ノウハウが蓄積されてきたアートポリス。今後、公共建築のあり方を考えるうえで、アートポリスは以前にも増して重要性を持ち、他の地域を熊本が牽引していく可能性があると感じてくくった。

交流会 参加者全員でアートポリス交歓

講演とパネルディスカッションの後は、104名が参加して交流会が行われた。25年の間に培われたアートポリスの人脈の広さをうかがわせる豪華な顔ぶれで、終始なごやかな雰囲気の中、思い思いにアートポリス事業の25年を振り返った。



「苓北町民ホール」を手がけた小野田氏も東北から駆けつけてくださった。



熊本県建築士事務所協会 福島会長による乾杯

東京シンポジウム「くまもと」アートポリスの25年

オープニングシンポジウムの開催

平成24年9月8日(土)、東京の伊東建築塾神谷町スタジオで、「くまもとアートポリス東京シンポジウム」が開催され、100名を超える参加者があった。伊東コミッショナー・アドバイザーとアートポリスのプロジェクトに参加した建築家の山本理顕氏、西沢立衛氏がパネリストとなり、アートポリス25年の歴史や地元意識、また最近の学校建築やプロジェクトの取組み、東日本大震災への支援となったみんなの家について紹介された。その後、今後のアートポリスの展望について語るシンポジウムとなり、伊東コミッショナーは、「空間のデザインから時間のデザインへ、建築家の役割が変わる。どのように作り、どのように育てるか、時間の中での建築へのかかわり方が重要」と話された。山本理顕氏からは、「アートポリスが25年続いてきたことが大切、未来につなぐ建築展となってほしい」と期待を込めた発言もあった。

会場からは、「最近、熊本に行ったが、アジアの国々から多くの方がアートポリスの建築を見に来られている。ホテルのフロントでは、5~6人の方が、アートポリスを語ってくれた。アートポリスは、一般の方々にも浸透してきていると感じた。」との感想も聞かれた。



山本理顕氏 (県営保田窪第一団地設計者)



西沢立衛氏 (熊本駅白川口(東口)駅前広場設計者)



シンポジウム会場の様子



パネリスト

アートポリス見学ツアー

県民を対象に、県内各地に存在するアートポリス施設と文化財等を巡る「アートポリス見学ツアー」(3コース)を開催し、約240人の方が参加した。

10月21日(日) 芦北・人吉・球磨コース

あしきた青少年の家
球泉洞休暇村バンガロー、R2
青蓮寺阿弥陀堂
青井阿蘇神社
人吉温泉物産館



青蓮寺阿弥陀堂

11月4日(日) 美里・山都コース

美里町林業総合センター
霊台橋(車窓)
馬見原橋
清和文楽呂
鮎の瀬大橋
サントリー九州熊本工場



美里町林業総合センター

11月11日(日) 玉名・山鹿・菊池コース

高瀬
装飾古墳館
山鹿市内散策
水辺プラザかもと
歴史公園鞠智城
菊池市街地ポケットパーク



さくら湯

プロジェクト視察バスツアー

11月25日(日)には、応募があった建築関係者65人を対象に視察バスツアーを開催した。

工事中の豊野小中学校をはじめ、日頃はなかなか視察できない農業大学校学生寮や最新の竣工プロジェクトである菊池市街地ポケットパークの3施設について設計者が想いを語り、参加者には有意義なツアーとなった。

11月25日(日)

宇城市立豊野小中学校、農業大学校学生寮、菊池市街地ポケットパーク



豊野小中学校

くまもとアートポリス25周年展覧会 「写真に映るアートポリス」開催

平成24年10月6日(土)～8日(月)の3日間、熊本城下にある桜の馬場城彩苑内の多目的交流施設(総合観光案内所2階)で「写真に映るアートポリス」をテーマに展覧会を開催した。熊本城秋のお城祭りやみずあかりが開催中ということもあり、628名もの来場者があった。

会場では、1988年の事業開始から25年、3代にわたるコミッショナーが関わったプロジェクトやアートポリス推進賞、アートポリス建築塾、国際交流基金による海外巡回展を写真や映像を使って紹介し、フォトコンテストに応募された作品の展示も同時に行われた。また、一画では、アートポリスに関するクイズラリーを行い、多くの子供達で賑わった。



クイズラリーに参加する来場者



展覧会会場の様子



展覧会会場の様子

くまもとアートポリスフォトコンテスト表彰式

くまもとアートポリスをより身近に感じていただくためにフォトコンテストを開催した。募集は夏休みを含めた7月20日から9月10日までとし、アートポリス賞部門とくまモンとアートポリス



くまモン賞部門最優秀賞の相良真咲さん

た写真を対象としたくまモン賞部門の二つ。アートポリス賞部門は101点、くまモン賞部門には、14点の応募があり、それぞれ5点の写真が受賞となった。

表彰式は、平成24年10月6日(土)にお城まつりで賑わう城彩苑で行われ、受賞者には表彰状と商品が授与された。審査委員長を務めた宮井正樹氏(写真家)は「写真的にいい写真、建築的にいい写真と、この二つの要素が入ったものを選ぶのは大変難しかったが、どの作品も優秀賞になってもいいくらいレベルが高かった。」と講評された。また、表彰式にはくまモンがかけつけプレゼンターを務め、くまモン体操を一緒に踊るなど会場を盛り上げた。

なお、フォトコンテストの応募作品は、城彩苑の多目的交流施設と熊本市現代美術館の階段ギャラリーで展示した。



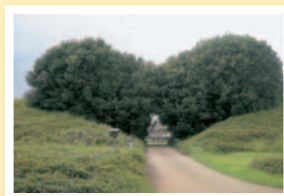
表彰式会場の様子

最優秀賞作品

アートポリス賞部門

黒田 浩敬さん

「愛(♡)に包まれた寮生活」
(農業大学校学生寮)



くまモン賞部門

相良 真咲さん

「がんばるくまモン!!」
(熊本駅交番)



撮影会



8月19日(日)
熊本南警察署
熊本駅交番

8月26日(日)
菊池市街地
ポケットパーク
(横町)



くまもとアートポリス25周年展覧会 「最新15の建築力」開催

平成24年11月23日(金)の国際シンポジウムの開催に合わせて、同日から12月24日(月)までの約1か月間、熊本市現代美術館において展覧会を開催、2,500名を超える来場者があった。また初日の11月23日(金)には、熊本市現代美術館と共催でアートポリス参加施設の設計者2人によるサロントークを行った。

展覧会では、最近4年間の15のアートポリス参加施設を模型、写真及び画像などで紹介したもののほか、宮城県仙台市と阿蘇市に建設した「みんなの家」の取組みやこの建築展で開催したシンポジウムや見学ツアーなどをパネルと映像で紹介した。また、階段ギャラリーでは、アートポリスフォトコンテスト応募作品の115点と12月8日(土)に行われた「こども建築塾」の4つの模型作品を展示した。

サロントーク

ホームギャラリーで行われたサロントークには、曾我部昌史氏と藤本壮介氏が出演した。

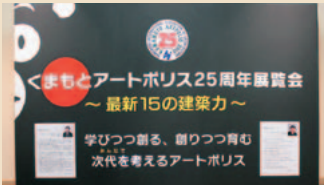
藤本氏は、球泉洞休暇村木造バンガロー「モクバン」についてのコンペの経緯や完成までの苦勞を話し、曾我部氏は、「下条茅葺の塔」(新潟)の取組みについて語った。会場は、100人を超える学生らで賑わった。



曾我部昌史氏(右)
藤本 壮介氏(左)



会場の様子



くまもとアートポリスこども建築塾 「こどもが考えるみんなの家」

こどもたちに建築の楽しさを体験してもらうため、平成24年12月8日(土)にこども建築塾を開催した。講師に太田浩史氏を迎え、白川公園を敷地に、災害で家に住めなくなった人のため5家族20人が一緒に住む「みんなの家」を計画するもの。小学校高学年(4~6年生)20名が敷地の特徴に合わせて「丘」「森」「池」「広場」の4つのチームに分かれ、電気に頼らない暮らしを提案した。

午前中は、敷地となる白川公園を確認し、各チームの5人それぞれがみんなの家の5つの部屋(遊ぶ、集まる、寝る、食べる、チームのオリジナル)を考えた。

午後は、熊本市現代美術館のキッズファクトリーに会場を移し、各チームが5つの部屋を組み合わせた模型を制作した。その後、各チームの自慢のみんなの家を前に、こどもたちが取組みの成果を発表、最後は太田浩史氏が「みんな建築家になれる」と子供たちの取組みを称えた。



太田浩史氏



丘チーム



森チーム



池チーム



広場チーム



太田浩史氏の講義



模型の制作状況

天草アーバ (リップルランド公園東屋及び周辺整備事業)



アートポリスの第88番目のプロジェクト「天草アーバ※」は、天草市有明町のリップルランド公園内で東屋的な休憩スペースとその周辺を整備するもの。このプロジェクトは伊東コミッショナーを塾長に、お互いに競いながら学ぶという競学の間を通して塾生みんなで建築を創っていくことを目的に「天草アーバ建築塾」としてスタート。県内外から応募があった塾生18名、聴講生17名により進められ、約7ヶ月わたり数々の課題をこなしながら設計案が検討され、木の格子が特徴的な最終案が決定した。

さらに、工事期間中、工程会議に塾生も参加するなど、プロジェクト全工程に渡り、多くの塾生が関わり、平成25年3月に竣工を迎えることができた。

※アーバ(arbor)：緑陰をつくるような「東屋」

棟上げ・餅投げ 3月2日



天草アーバ建築塾



オリエンテーション

平成24年7月7日
(天草市有明支所およびリップルランド公園)

建築塾に先立ち、有明支所においてオリエンテーション開催。その後、天草アーバの敷地を塾生をはじめ関係者で現地確認。



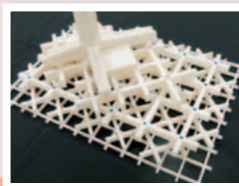
第1回建築塾

平成24年7月8日
(熊本県庁)

第1回建築塾は、事前に与えられていた課題を塾生、聴講生が発表。様々な案が寄せられ、塾生と意見交換が行われた。



モックアップ



模型

第3回建築塾
平成24年9月16日～17日
(天草宝島国際交流会館ポルト)



プレゼンテーションの様子

第2回建築塾

平成24年8月19日 (熊本県庁)

前回提出された設計案をもとに、塾生がそれぞれ9つのチームをつくり、さらに設計案に磨きをかけていった。



塾生が提案した模型

実施打合せ会議

平成24年9月26日～11月22日 (5回開催)
(熊本大学)

最終案を具体的なものにするために会議を重ねた。

課題に取り組みながら検討を重ねていった9つの設計案を発表。検討の結果、ひとつの案に絞られ、翌日には最終案の方針が決められた。



9つの案から1案に絞る討議

菊池市街地ポケットパーク



切明ポケットパーク



横町ポケットパーク



設計者
塩塚隆生氏

これまで、地域住民とワークショップを重ねてきたふたつのポケットパークが菊池市隈府のまちなかに完成し、平成24年4月にオープンした。

菊池は温泉が有名なまち。切明地区・横町地区それぞれのポケットパークに足湯が設置され、ゆったり癒される空間となった。平成24年5月19日(土)にはそのお披露目を兼ねて、菊池市街地のまちあるきを開催し、県内外から約100名の方が参加した。

当日は、樹齢約600年にもなる県天然記念物「將軍木」(ムクノキ)や、伝統芸能である松囃子能を現在でも秋季大祭の日に披露している舞台「松囃子能場」について、市の担当者から説明を受けたあと、ポケットパークでは設計者の塩塚隆生氏がそのコンセプトやワークショップ時の様子などを説明した。

夏には親子連れが水遊びをしている様子うかがえ、地域住民が日常に立ち寄る公園として親しまれている。

完成見学会



水と親しめる切明ポケットパーク



人々が集える横町ポケットパーク



伝統的な神事が今も受け継がれる「松囃子能場」

宇城市豊野小中学校

平成20年12月のプロポーザル公開審査から4年3カ月を経て、県内初の小中一貫校である豊野小中学校が3月に完成した。既存の中学校敷地に小学校部分を新設する事業である。設計者は、小泉雅生+SDA建築設計事務所。平成25年4月に開校する。

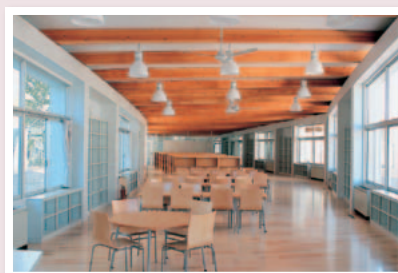
【建物概要】 宇城市立豊野小中学校
構造・階数/R C造+木造 平屋建て
発注者/宇城市
設計/小泉雅生/小泉アトリエ+SDA建築設計事務所
建築/戸田・武末特定建設共同企業体
竣工/2013年3月



設計者
小泉雅生氏/小泉アトリエ



設計者
牧野朋子氏/SDA建築設計事務所



熊本県立球磨工業高等学校 管理棟

地元球磨地域の木材を利用した木の洞窟が出現!!

平成24年7月に工事に着手した県立球磨工業高等学校管理棟（設計/ワークステーション+モードフロンティア+萩嶺一級建築士事務所）は、特徴的な木壁の施工が始まり、圧倒的な木の力強さを強く感じられる空間が出現してきた。

また、平成25年1月末からは全国で唯一の伝統建築専攻科の生徒たちと資料閲覧室に設置する棚やテーブルなど家具を制作するワークショップを実施し、伝統と新しさを備えた家具制作も進んでおり、平成25年10月の創立50周年式典に向けて、管理棟の竣工が待ち望まれる。



木壁の建方が開始された。材料は県内産の杉材120×180を重ね合わせて造られている。右の写真は木壁の継手部分。



設計者を講師（写真は高橋寛氏）として伝統建築専攻科の生徒と一緒に家具の制作を進めている。



高橋寛氏
(ワークステーション)



高橋晶子氏
(ワークステーション)



濱田裕史氏
(モードフロンティア)



萩嶺宣治氏
(萩嶺一級建築士事務所)

和水町立三加和小中学校

新設する木造校舎・体育館がつくる サスティナブル・スクール

平成23年11月に公募型プロポーザルで設計者（NNSH設計共同体/野沢正光、中村享一、柴田真秀、東大森裕子）を決定し、約1年間の設計期間を経て、12月に工事に着手した。このプロジェクトは既存中学校の敷地に3つの小学校を統合した校舎を併設するもので、まず新設する小学校木造校舎・体育館を建て、中学校機能を仮に移転し、既存中学校校舎の改修を行う事業で、平成26年4月に小中併設型校舎として開校する予定。



完成イメージパース



野沢正光氏



中村享一氏



柴田真秀氏

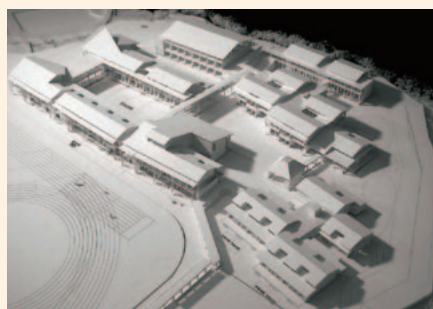


東大森裕子氏

和水町立菊水小中学校

自然と共に生きる木造校舎の提案

三加和小中学校の約4か月後、公募型プロポーザルで設計者（龍+いるか+西山設計集団/内田文雄、吉村雅夫、西山英夫）が決定した。このプロジェクトは、町の総合グラウンドを造成し、統合する4つの小学校校舎と中学校校舎を併設した校舎を新設する事業。今年度は、林野庁の補助を受け、木材公共建築物の設計段階からの技術支援事業として4回のワークショップを実施した。平成25年6月には実施設計を終え、平成27年4月に開校する予定。



完成模型



内田文雄氏



吉村雅夫氏



西山英夫氏

第18回くまもとアートポリス推進賞

質の高い優れた建造物を顕彰することにより、県民の環境デザインに対する意識の高揚と都市環境並びに建築文化等の向上・併せて豊かな地域づくりを図ることを目的とした「くまもとアートポリス推進賞」。第18回目の今回は、県内外から46点の応募があり、推進賞には「行徳眼科」、「八代の家」の2作品、推進賞選賞には7作品が受賞した。審査員からは、熊本らしい質の高い作品も生まれてきた、と評価された。



行徳眼科 (熊本市) ※1



八代の家 (八代市)



護岸の家 (宇土市)



器季家カフェ ※2 (熊本市)



阿蘇くまもとと空港 (上益城郡益城町)



ハイマートの郷 (熊本市)



ユウハウス ※1 (熊本市)



House-Sim ※3 (阿蘇市)



±5°SEPPANBOX ※4 (玉名市)

- [撮影者]
 ※1 石井紀久
 ※2 宮島秀生
 ※3 Techni Staff
 イクマサトシ
 ※4 笹井マサフミ

アートポリスプロジェクト視察

今年度は、韓国を中心に海外から約450人にのぼる多数の視察者が訪れた。今年度からは3か国語(日本語・韓国語・英語)対応の映像を使用して、アートポリスの概要やシステム、プロジェクトをわかりやすく紹介。また新たに作成したガイドマップ(日本語・韓国語・英語)を使い施設の案内を行った。



保田窪第一団地

宇城市立豊野小中学校完成見学会・ 県立球磨工業高等学校管理棟現場見学会



宇城市立豊野小中学校

平成25年3月17日(日)、この春完成したばかりの宇城市立豊野小中学校と、工事が進む県立球磨工業高等学校管理棟を設計者が案内する見学会を開催し、80人を超える参加者で賑わった。



県立球磨工業高校管理棟

日本クリエイション賞 受賞報告

(主催：一般財団法人日本ファッション協会)



くまもとアートポリスが日本クリエイション大賞2012「クリエイション賞」を受賞し、平成25年3月11日(月)、伊東コミッショナーが表彰式に出席された。

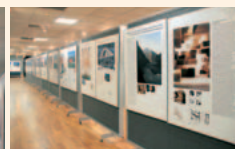
日本クリエイション賞

ジャンルを問わずクリエイティブな視野で生活文化の向上に貢献し、次代を切り拓いた人物や事象などを表彰対象とし、未来に向けて新たな足跡を残しうる優秀なクリエイションワークを表彰している。今回は計121件の中から大賞1件のほか、復元された東京駅など4件が選ばれた。

海外巡回展



シンガポールの巡回展の様子



- ◎2012年8月11日から8月27日
 中国/合肥
 平成24年度 ◎2012年9月20日から10月3日
 巡回展実績 ラオス/ピエンチャン
 ◎2013年1月7日から31日
 シンガポール/シンガポール

日本の伝統や文化などを海外に紹介するために国際交流基金が開催している海外巡回展。そのテーマのひとつとしてくまもとアートポリスが取り上げられており、今年度は中国、ラオス、シンガポールなど3か国で開催された。

阿蘇 「みんなの家」

平成24年7月12日に発生した九州北部豪雨で被害を受けた阿蘇市に対し、応急仮設住宅敷地内に設ける談話室について、くまもとアートポリス東北支援「みんなの家」で培ったノウハウを活用し、県内で初めて阿蘇「みんなの家」として取り組んだ。創造的復興の一環として、伊東コミッショナーを中心に、仮設住宅にお住まいの方々、阿蘇市、復興を支援いただいている多くの方々の意見を聞きながらみんなで建設し、平成24年11月に竣工した。

高田住宅



内観



外観



棟上げ・餅投げ 11月2日

池尻・東池尻住宅



内観



外観



落成式 11月26日

くまもとアートポリス 建築展2012協賛事業

- 9月29日(土)～9月30日(日)
熊本県技能祭
主催:熊本県技能祭準備委員会
- 10月5日(金)～10月6日(土)
LRT都市サミット熊本2012
主催:熊本市

- 10月6日(土)～10月7日(日)
(社)日本建築家協会九州支部大会
主催:(社)日本建築家協会九州支部
- 10月27日(土)
「山鹿市立鹿北小学校」現場見学会
主催:(社)熊本県建築士会青年部会
- 10月27日(土)
(社)熊本県建築士会山鹿支部創立50周年記念講演会
主催:(社)熊本県建築士会山鹿支部
- 11月6日(火)
木造公共建築シンポジウム
主催:熊本県公共建築行政連絡協議会・熊本県・熊本市

- 11月11日(日)
第11回牛深ワンわんウォーキング
主催:牛深商工会議所
- 11月22日(木)
景観シンポジウム
主催:熊本県(共催:くまもと緑・景観協働機構)
- 11月23日(金)～26日(月)
熊本まちなみトラスト展
主催:熊本まちなみトラスト及び熊本市現代美術館
- 11月29日(木)
くまもとの建築を考える
主催:(社)熊本県建築士事務所協会

- 12月1日(土)～12月2日(日)
第23回牛深あかね市
主催:天草市役所牛深支所産業振興課牛深あかね市実行委員会
- 12月1日(土)
第3回けんちく寿プロジェクト
主催:けんちく寿プロジェクト実行委員会
- 12月2日(日)
楽楽まつり
主催:一般財団法人 清和文楽の里協会
- 12月24日(月)～12月31日(月)
新町古町町家ライトアップ
主催:熊本まちなみトラスト



●発行

くまもとアートポリス事務局(熊本県土木部建築住宅局建築課内)

〒862-8570 熊本市中央区水前寺6-18-1 TEL096-333-2537 FAX096-384-9820

e-mail:kenchiku@pref.kumamoto.lg.jp http://www.pref.kumamoto.jp/site/artpolis/

※熊本駅前の「くまもと森都心プラザ」2Fに展示コーナーを設けています。

所在地:熊本市西区春日1丁目14番1号

発行:熊本県
所属:建築課
発行年度:平成24年度